

# 呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

① 該当者	2021年4月1日～2022年3月31日の期間に当院にて心臓血管外科手術を受けられ、術前より作業療法を受けた患者様			
② 研究課題名	心臓血管外科手術における術後高次脳機能障害の検討			
③ 実施予定期間	2023年2月～2025年3月			
④ 実施機関	国立病院機構呉医療センター			
⑤ 研究代表者	氏名	山崎 琢磨	所属	呉医療センターリハビリテーション科
⑥ 当院の研究責任者	氏名	同上	所属	同上
⑦ 使用する試料	収集する診療情報は下記の通りです。 年齢、性別、教育歴、喫煙歴、糖尿病の有無、大脳白質病変の有無、頸動脈狭窄の程度、頭蓋内血管病変の有無、ABI、手術時間、人工心肺駆動時間、抜管までの期間、ICU滞在期間、離床までの期間、術後せん妄の有無、BNP、LVEF、作業療法士評価項目(SPPB、MMSE、FAB、BI) ※上記診療情報は、研究終了まで厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。 ※診療情報は当院の研究担当者によって厳重に保管されます。 ※当院の研究者2名が収集した情報を取り扱います。			
⑧ 目的	心臓大血管の手術は侵襲度が高く、様々な合併症を引き起こす危険性がありますが、近年、手術後の高次脳機能障害(POCD: Postoperative Cognitive Dysfunction)といわれる、明らかな脳の器質的な障害を伴わず、記憶や注意機能等の低下を認める病態が注目されています。POCDは重篤な合併症で、入院期間の延長や退院時の転機先に関与するとの報告がなされています。県内でも高齢化が進んでいる呉地域では、よりPOCDのリスクが高いと思われます。しかし、POCDの基準や発生要因については明らかにされておらず、検討が進められています。そのため、過去の症例を振り返り、当院での発生状況や要因を検討することで、今後のリハビリテーション介入時期や介入内容、多職種連携に寄与するものと考えます。			
⑨ 方法	2021年4月1日～2024年3月31日の期間に当院にて待機的に心臓血管外科手術を受けられ、作業療法士が介入した患者様を対象とし、診療録より上記の情報を収集し、統計処理を行います。			
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2023年2月6日		
	院長承認日	2023年2月6日		
⑪ 公表	個人情報保護は確保したうえで、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。			
⑫ プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。			
⑬ 知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。			
⑭ 利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。			
⑮ 問い合わせ	連絡先	福原 淳史	電話	0823-22-3111(代表)
	国立病院機構呉医療センターリハビリテーション科			

呉医療センター院長